

廃業させないまち とよはし

vol.7

令和7年(2025年)9月発行

事業継続と成長を目指す中小事業者のみなさまへ

「とよはし事業承継ひろば」
ホームページはこちから



(写真)紅葉の普門寺

未来へ走る、親子ごとなくリサイクル。

親族内承継



事業承継までの道のり・

事業承継を意識し始めたのはいつからですか?



恭さん(以下、恭) : 大学に入る前から意識していました。正直な話、若い時は父の後を継ぐのは嫌だなと思っていました。大学卒業までは、好きにやらせてほしいと思い、大学卒業後は、神戸の会社で1年間修業をした後、吉田商会に入社しました。最初はトイレ掃除等の雑務から勉強していましたが、20代の時には、採用面接の席に座るようになり、一般の社員とは違い、総務系の業務を担当するようになったことから、承継への意識はより鮮明になっていきました。



廣喜さん(以下、廣) : 息子が生まれた直後から意識していました。大学を決める時には、「県外の大学に進学すると、戻って来てくれなくなる。」と思っていたので県内の大学に入学するように息子へ勧めました。

事業を引き継ぐ上で、苦労したことがあれば教えてください

恭: 苦労しかありませんでした。取引先から「息子なんて知らない。」と言われたことが一番印象に残っています。父の影響力が大きく、承継した後も父のことを「社長」と呼ぶ声が多かったです。また、承継したとき、ベテランの社員が多数おり、「新社長のもとでは働けない。」と会社を去っていました。社員も何人かいました。「信頼」の面では苦労しましたね。父が代表だった時代とは、周りの環境や取扱うモノも違うので、自分なりのやり方を探りながらやっていこうと考えていました。お陰様で、今では従業員との信頼関係が生まれ、連携も取れています。

廣: 承継の2年前から、一緒に取引先などを挨拶回りをして、通常業務も一緒に行っていたので承継時の苦労はそれほどありませんでした。社長(息子)と私の妻が経理として現在も働いてくれているので、心配していません。



工場内、綺麗に並ぶ解体後のパーツ

株式会社 吉田商会

概要

所在地 豊橋市下地町字新道 29 番地 従業員数 33 人 (令和7年8月現在)
創立 昭和 56 年 事業内容 自動車リサイクル部品の生産
資本金 1,000 万円 及び販売、輸出、自動車の解体

今、事業承継はどの程度進んでいますか?

恭: 社長業務に関して言えば、100%終了しています。事業全体の承継に関して言えば、60%ぐらいだと思います。残りの40%については、父が持っている会社の株の引き継ぎが20%、経理事務等の資金管理全般の引き継ぎが20%という印象です。



解体中の車両

現在は、私の妻が社員として入り、経理をやっている母から仕事を教えてもらっているので、事業全体の承継も進んでいます。

今後の新しいビジョン、夢があつたら教えてください

恭: ジャンボジェットやF1カーを解体してみたいですね(笑)。今は、主に乗用車を解体していますが、時代のニーズに合わせて、どんな乗り物でも解体できるような姿勢が大切だと思っています。一般の方は自動車で困ったことがありますれば、ディーラーに相談しますが、処分したい自動車があれば、ディーラーを通さず解体業者に持つてきてくれるビジネスモデルにしたいと考えています。

廣: 小さいお子さんにも知ってもらえるような会社になって欲しいです。これまで、学校から依頼があれば出前授業なども積極的に行ってきました。

特に工場の老朽化や住宅街への騒音対策が課題なので、ゆっくりは場所を移転して、新しい工場を造るなど今後の息子の手腕に期待したいですね。



毎日朝礼後にコミュニケーション

事業承継の流れ・

会長：廣喜さん（昭和 22 年生まれ）

社長：恭平さん（昭和 55 年生まれ）

下地町柳目にて自動車解体業「フレッシュ豊城」創業

昭和 56 年 1 月



同町野箱に移転、社名を「吉田商会」に

昭和 57 年 1 月



「有限会社吉田商会」設立

平成 10 年 10 月



同町新道に本社移転、社名変更「株式会社吉田商会」に

平成 14 年 10 月

自動車リサイクル法における「解体業許可」取得

平成 16 年 4 月

豊橋信用金庫へ資金繰り相談、経営コンサルタントや顧問税理士に事業承継について相談

平成 26 年



県内の大学へ進学

大学卒業後、兵庫県神戸市の自動車関連会社にて 1 年間修業

「株式会社吉田商会」入社



代表交代(70 歳)

平成 28 年 10 月

結婚



社長就任

平成 30 年 8 月

1,200 坪の車両置場を新設

令和元年 6 月

単身用社員寮新設

令和 5 年 2 月

豊橋市子育て応援企業優秀賞 受賞

令和 7 年 9 月～

プラスチック破碎機の導入検討
社員福利厚生のさらなる充実を検討

親族内承継を考える方へのメッセージ

会長 廣喜さん



承継は、目的・目標・手段を次の世代に引き継いでいくことが大切だと思います。会社の軸となるこれらがしっかりとしていくれば、従業員も自然とついてきてくれると思います。

また承継前、承継後に関わらず、日頃から息子とコミュニケーションをとるようにしています。現在も毎日、朝礼後は息子と打合せをして、意見をすり合わせながら事業を取り組んでいます。フラットな親子関係を築けるとスムーズな承継に繋ぐことができるかもしれませんですね。

社長 恭平さん



私にとっては小さい頃から父が仕事をやっているのが当たり前でした。幼い頃から、いつかは自分も社長になるのだろうと考えていました。

承継することは自分が思っている以上に心身共に負担がかかりますので、日頃からの体力づくりも必要だと思います。

当時は困ったり、悩んだりすることが沢山ありました。同じような境遇の中小企業を経営している仲間たちに、苦労や不安を吐露することで少しずつ気持ちが楽になりました。一人で抱え込まずに支援機関や周囲の人と相談しながら進めていくことをお勧めします。

豊橋信用金庫 下地支店
星川 公彦 支店長



当金庫は、『夢を預かる、金融機関。』を 10 年ビジョンとして掲げ、お客様へ寄り添い、本音で語り合い、本気で応援する活動を役職員一丸となって取り組んでいます。特に事業承継のご支援は、お客様のことを理解している地域金融機関の大きな役割であると考えており、お客様に対しては「事業承継の準備に早すぎることはない」とことを伝えるようにしています。吉田商会様へは専門家によるアドバイスやサポートのもと、様々な選択肢を持ちながら事業承継を進めることができました。歴史ある吉田商会様の更なる成長に向けて、メインバンクとして末永くご支援させていただきます。

事業承継「個別相談会」受付中！ 無料

中小事業者の皆さんに、スムーズな事業承継をしていただくために、専門家による個別相談会を開催しています。

- 開催日時 毎月 第1・第3水曜日 午前9時半から12時
※上記が祝日の場合は、翌開庁日の開催
- 会場 豊橋市役所内
- 対象者 豊橋市内の経営者
または 後継者（親族、従業員、第三者等）
- 相談機関 （経済産業省中部経済産業局委託事業）
愛知県事業承継・引継ぎ支援センター
- 料金 無料
- 申込書 豊橋市ホームページでダウンロード



コラム記事



愛知県

事業承継・引継ぎ支援センター

～今こそ、未来へのバトンを～

事業承継、
こんなお悩み
ありませんか？



そろそろ後継者のことを考えないと…

事業承継って何から手をつけたらいいの？

自分が元気なうちに準備した方がいいとは聞くけど、具体的にいつ？

→ 実際に経験者の多くが「もっと早く動けばよかった」と語ります。

なぜ事業承継は“時間”かかるのか？

一般的に事業承継には5~10年ほど必要とされています。その背景には次のような理由があります。

- ①会社の業績が良くない・過大な借入金がある場合、後継者が事業承継を断ることや、従業員や同業者など第三者の引き継ぎ手が現れないことも多く、業績向上や借入金の圧縮など会社の磨き上げが必要になり経営改善に時間がかかります。
- ②会社の業績が良い・利益の蓄積がされている場合、株式や設備などの事業用資産の価値（価格）が膨み、相続税の納税資金の準備や後継者による事業資産の買取資金の準備、または税制の利用のために相当の期間が必要となります。
- ③株式や事業用資産が誰かに渡せる形になるまで長期間の調整が必要となります。（分散した株式の収集や、関係者の同意など）
- ④取引先や金融機関等との関係維持に必要な、後継者の教育や、従業員や同業者などの第三者への事業の引き継ぎに長い時間がかかります。
- ⑤事業承継の準備では、同時に現経営者の相続対策も考える必要があり、親族間の話し合いと合意が必要になり時間がかかります。

だからこそ、「早めの準備」が成功のカギ！

時間に余裕があると…

- 経営改善・資産整理がスムーズ
- 後継者への引き継ぎが丁寧に
- 社内外の信頼も得られやすい

元気なうちに動き始めることが何より大切です。

まずは、無料相談からはじめてみませんか？

同ページ上部の「事業承継個別相談会」では、愛知県事業承継・引継ぎ支援センターの専門スタッフがそれぞれのご事情を丁寧に伺ったうえで解決すべき課題を洗い出し、ご相談者様にとってどのような準備を進めるべきかをご提案します。

▶ 後継者が決まっている場合

事業承継計画の作成や体制整備を支援

▶ 後継者が未定の場合

全国のネットワークを活用してM&Aや候補者探索をサポート



～大切な事業を未来へしっかりとつなぐためにご活用ください。～

中小企業白書 2025年版に豊橋市の取組が掲載！

掲載ページ

【コラム3-1-3 地方公共団体（自治体）による事業承継支援】P96～98



自治体による事業承継支援の取組の先進的な事例として豊橋市が紹介されています。事業承継プラットホーム「とよはし事業承継ひろば」を通じて、支援機関同士の調整、連携を図り、セミナーや当リーフレットの周知・啓発をする取組などが挙げられています。是非ご覧ください。



CHECK!

(参考資料) 2025年版中小企業白書・小規模企業白書 コラム集



豊橋サテライトオフィス
サブマネージャー 筒井 真